

發行所 聖山フアケンデス  
街六六「郵館」一  
電話七四六七〇

伯刺西爾時報社  
(本報一週二回發行)

購 壹ヶ月一 參  
料 牛々年一拾六ミル  
宣 々々年一參拾五ミル

在支四年の袂別を惜む

又々外蒙兵  
滿洲國內へ侵

西國境線愈々多事

果然國境線緊張す  
外蒙兵に既十五萬集中

對滿戰備着々進む

張北では  
滿蒙軍と  
支那軍交戦

【北平廿八日】張家口北方の張北  
が外蒙國の出發、何は兩國同方面  
の事情、勢は看過出來もの、と見ら  
れてゐる

【東京廿日】最近、滿蒙國境に於  
ける外蒙側の不遜態度を表示して  
不祥事件が頻出し、滿國境の注  
目は今や滿蒙國境に移り同方面の  
成行は最も注目を受けてゐるが、  
廿日、同盟の通信は新京よりの報  
道として左の如く外蒙側の態度を  
報道した

外蒙政府は最近滿蒙國境線に著  
着兵備を固め、確固するに同國  
境近くのメイクルンには約五  
の外蒙兵が集中して居り、同  
の戦略上の重要地點に戰備を  
めてゐる、別報に依るに國境  
に集中された外蒙軍は實に十二  
万とも算せられ、軍用機百臺  
戰車二十臺、裝甲自動車四千  
算し頗る強力なものと云はれ  
る

各名士を引見

和平外交を説かる

【ロンドン世目】 御大罪を了へさせられたエドワード八世陛下には大英帝國に新に君臨される統治者としてけふ内外の名士多數を順次引見遊され其さに帝般の意見を臨遊遊されたが、新帝陛下には終極迄の如き御方針を明切強に遊されたを承る

即ち今後多事難な内外の政局に處する根本方針としては、英國の理解ある相互扶助と國際間の協調に依つて廣く行はれる和平政策を遂行支持すべきである

尙新帝の御引見を賜つたもので最も注目されるものは、ソ聯外務委員長トダイノフ、獨逸外相ノイラード男、佛國大統領ルブランの諸氏で相當深い引見であつた

滿洲兵

聯に投降

「タス」通信與太る

切つて來たものだ、日本滿洲兩國軍は仲々折合はず、抗争してゐる、そうして其の爲に四名の同僚が殺された、と云つた、

費地に投降申出た兵はぜん部で一百四名で兵費四名、中尉一名それ等は直ちに武裝解除をなされたが、機關銃二挺銃十一、モリセルピストル二挺、アロニーング二挺で其他軍需品が多少あつた、と

非常時伊太利國民へ

ムツ首相鐵血の法令

# 鎖の重

## 重要國務會議對策協議

【ローマ卅日】けふ午前十時、ムッソ首相を中心に各省長官が一室に集ひ、對伊經濟封鎖の繼續に依つて現れて來る新事態を中心とした重要内政問題經濟問題の對策を協議すべき重要會議が開かれた

兵員に不足はないが

の缺如が心配  
口を滑らしたかムツ首相

「巴里廿九日」巴里「ロヘウア  
ムツ」紙はムツ首相の言として左の  
如き興味ある點を御いて報道し、  
各方面の注目と話題を創つてゐる  
と云ふのは佛國は朝野を擧げて  
現在、新與獨逸の勢力に畏怖し  
其の復讐を懸念してゐるが、こ  
れについて過激、ローマにムツ  
首相に對して佛首相ラザール  
氏が親しく質問して「若し獨逸  
が非武裝地間に於ける條約を破  
棄した場合に伊太利は果して佛

國に組みするや」と持ちかけた處  
ムツ首相はこれに應へて、ロー  
マ政府は伊佛相互扶助協約の精  
神に照つて佛國側の御度には支  
拂に吝でない、伊太利はア  
フリカに於けるのみで僅に七個  
師團の編成をなし得る兵員を有  
してゐるが、兵員に不足はな  
いが、只武器が缺如するところ  
があるやも知れぬと云ふ恐ろしい  
ところからさへ述べた云ふこと  
である、この言は佛國には力強

い感銘を與へ非常に好評  
であるが反面伊太利の弱  
露したことも否めない  
れてゐる

外蒙兵の不法  
侵入續く

「東京廿九日」新京よりの  
依れば廿三日の外蒙古兵の  
境侵入後再び廿六日數百の  
が國境を突破して滿洲國領

# 愈々質的制限の討議

## 英・米・佛・伊意見對立

原則的に英案を承認

【ロンドン廿九日】海軍官議四國會議の海軍委員會は、くふ武器の質的制限に關する討議を開始した。  
討議開始に當つて英海相モンセル卿は、本命題の根本となすべき提案をなし、各國委員これを認め、愈々質的討議に移つたが、英國側は質的制限として戰艦最大噸數を二萬五千噸に制限せんとするに對して、北米代表は三萬五千噸、塔城砲徑十四吋案を固守し、譲らず、此の點範圍をなした。  
其の他艦種に對しては、大體次の如き基本案であつた。

汕頭の形勢依然重大

更に一驅逐艦を増派

たらずを要求した  
佛伊兩國代表は共に英國側の提案  
を實行的制限の根本基礎とするこ  
とに賛成であるが、戦艦の最高限  
度は噸數に於て二萬七千噸、塔  
砲口徑々十二吋になすべきを伏線  
として主張した

巡査隊事件以來同市を中心と  
地方一帶の近日情勢は帝國憲法の抗  
議にも拘らず依然統制される模様  
もなく、形勢樂觀されため、わ  
が政府では更に油頭に向けて帝國  
海軍をして軍艦を増派することに  
し、廿八日更に二隻のくま艦を急

宮内省のイノシシ野郎が愛し菊  
子退却のため滿洲國政府は占領  
した地方奪回のため、更に有力  
隊を同方面に派遣せしめること  
なつた

相コクの

支那兵

昌平で戦ふ

復、關連船四隻、貨倉六隻が起つてゐるわけである。

**外蒙兵驅逐に有力部隊を増派**

滿洲國政府決意固む

【東京廿日】新京よりの報道に依れば、去る廿六日滿蒙國境地方で

殷汝耕を委員長と仰ぐ東部河北自治政府下の軍艦は昨日、北平北方へ四十キロ餘離れた古冶郡で衝突し、未だに火花を散して軍が抗争してゐる、が其の原因細は未だ不明である。

鐵道椿事

石名正の列車が同窓の某トホ  
に正に入入るさな瞬間雪崩れ  
に遭ひ、積雪が紙垣を勢ひで列車  
に落しかかり爲に後部客車は墜進  
目の川につき落され乗客約六十

×

駐支四年間の艱蹇が日支提携の  
誤解をつけたさ、まさか感服し出  
しもすまいが兎に角偉いもんだ。

×

右の重傷を負つた  
 共産軍進撃  
 貴陽危し  
 戒嚴令布告さる  
 廣東廿九日、貴州省方面の共産  
 軍が入り、同地方に於ける滿洲國兵な  
 り驅逐して其のまゝ地方を占領し、  
 尙餘勢力につゞめてゐる  
 會同回蒙兵が侵入した地帯は  
 西南境に横たはる且爾池の東  
 南ドモドツヤ地方なり  
 然しどうも相手がね。  
 ×  
 戰國動亂の前奏曲、歐洲は正に  
 蜂の巣。  
 ×  
 「マスニ通信與太る、ソ聯もデマを  
 覺へた、デマは自己の無力の反映  
 だ、支那の如く。  
 ×  
 世の中には評判と人格とがある  
 一つは意見だが他は事實だからね

國立公園全部決定

國立公園は、吉野、大山二處が決定し、右の地域も大極りなつた旨發表された、これで宮内省以下のわが國立公園が全部

土肥原少將  
太原へ向ふ  
北陸にまた  
吹雪荒れ狂ふ  
列車立往生  
決定を見たとさになる

と開陳した、ほく

再び各地に交通事故起り、運輸中の止むなきに至つた信越線では、江津方面で列車が全部立往生、

埃及の動亂尖銳  
學生遂に暴徒化  
隨所に血腥い衝突頻出

軍に愈々猛風を捲き、貴陽を去る五十キロの地點にある貴定市に迫り、一戰毎に政府軍を破り貴陽は愈々危険を告げるに至つた。

交際に向つたので支那官邊は見てゐる

で今後の大坂青森行は取りやめとなつた

共に同地帯に備へたが

つある

時 報  
春 秋



日支國交常道に復す、これで一  
心と有吉さん。

×

駐支四年間の藥譜が日支提携の  
解をつけたさ、よさか感張り出  
ますまいが兎に角偉いもんだ。

×

然しどうも相手がね。

×

戦國勅諭の前奏曲、歐洲は正に  
の巢。

×

マスニ通信與太る、ソ聯もデマは  
へた、デマは自己の無力の反映  
、支那の如く。

×

世の中には評判人格さがある  
つて意見だが、他は事實だからね



南鳩生

リ大藏長官に就任せるリンドルフ・コロルゼン氏分相は去る廿一日、就任の爲めオーストリアに立つた。北伯、ミナス選出少數議員數名も同氏に同行するや、エウリツグ・コレオナ氏（ヘルナンデス・コニョ）は――

余等の南下は、ただ大藏、農務長官にリンドルフ氏（ワルビー）氏の就任式に列席する爲である。

廿万噸の石炭を  
ルールより購入

【リオ近】セントラル鐵道購買

次期大統領戦をめぐりて  
政界ソロ／＼活況を呈す

政界ソロく活況を呈す

聖州郵便、電信會計課の報告に  
 依れば一九三五年度の同局の收入支  
 出は左の通り（マツカサ）、並に  
 リベロン・プレット地方局管内ア  
 ルト・ツロカバナ、モヤアナ及び  
 ノロエサ地方（含ます）  
 一九三五年度  
 支出  
 一、九、六八五  
 收入  
 一、八八五

料金は、南十字星列車に並

はる助的  
増収にして昨年の郵便、電信事務  
は一ヶ月平均約千六百金コントの  
収入になり、一昨年、昨年料金に  
變はりなくして約五〇%の増収で  
ある。換言すれば経済的活動のゼ  
ン暗網の活潮は忽ち聖州の異常な  
躍進を物語つてゐる

北伯移民四百名  
聖州耕地へ

## 觀測

赤字補填に  
四万コント支出

○一五三コムの特別支出を可

用に付希望者は左記

用に付希望者は左記

木

聖市サン・

---

一、受左己の易所ニ名

郵函

南米線

\*\*\*\*\*

[illegible]

| 船名       |       | 日本より  |       | 日本へ   |       |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 神戸       | 發     | 着     | サントス  | リ     | 發     |
| さんとす丸    | 一月十八日 | 二月廿九日 | 三月一日  | 三月廿日  | 三月廿一日 |
| まにら丸     | 一月廿八日 | ——    | 三月廿三日 | ——    | 三月廿二日 |
| りおでじやねろ丸 | 二月十八日 | 三月卅一日 | 四月一日  | 四月廿一日 | 四月八日  |
| あふりか丸    | 二月廿八日 | 四月廿三日 | 四月廿四日 | ——    | 四月廿二日 |
|          |       |       |       |       | 五月十日  |
|          |       |       |       |       | 五月十一日 |

—  
V  
C  
A  
C  
V  
V  
:

中山忠太郎  
聖市コンデ・ド・ビニール街  
一八四番 電話二・五六三八

[illegible]

松竹超特作  
解説者 静田華香  
五十嵐三

歌  
今日もくるく人通り

編輯  
空中各の旅  
P.C.I.L. 録

所  
テアトロ  
サンパウロ

[illegible]

面白く飲み、おいしい御食事を充分召上りな  
方、御食事を召上りなす。

森部市藏

Bar  
H

ブラサ・ダ・セ十

上斗其定其發者表

|      |      |   |   |
|------|------|---|---|
| サントス | サントス | リ | オ |
|------|------|---|---|

四月一日

---

四月廿一日

---

四月廿二日

---

四月廿三日

中山忠太郎

|        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 五月廿二日  | 四月卅日   | 五月十八日  | 五月十九日  | 五月廿日   |
| 五月廿三日  | 五月一日   | 五月十九日  | 五月廿日   | 五月廿一日  |
| 五月廿四日  | 五月二日   | 五月二十日  | 五月廿一日  | 五月廿二日  |
| 五月廿五日  | 五月三日   | 五月二十一日 | 五月廿二日  | 五月廿三日  |
| 五月廿六日  | 五月四日   | 五月二十二日 | 五月廿三日  | 五月廿四日  |
| 五月廿七日  | 五月五日   | 五月二十三日 | 五月廿四日  | 五月廿五日  |
| 五月廿八日  | 五月六日   | 五月二十四日 | 五月廿五日  | 五月廿六日  |
| 五月廿九日  | 五月七日   | 五月二十五日 | 五月廿六日  | 五月廿七日  |
| 五月三十日  | 五月八日   | 五月二十六日 | 五月廿七日  | 五月廿八日  |
| 五月三十一日 | 五月九日   | 五月二十七日 | 五月廿八日  | 五月廿九日  |
| 五月三十二日 | 五月十日   | 五月二十八日 | 五月廿九日  | 五月三十日  |
| 五月三十三日 | 五月十一日  | 五月二十九日 | 五月三十日  | 五月三十一日 |
| 五月三十四日 | 五月十二日  | 五月三十日  | 五月三十一日 | 六月一日   |
| 五月三十五日 | 五月十三日  | 五月三十一日 | 六月一日   | 六月二日   |
| 五月三十六日 | 五月十四日  | 六月一日   | 六月二日   | 六月三日   |
| 五月三十七日 | 五月十五日  | 六月二日   | 六月三日   | 六月四日   |
| 五月三十八日 | 五月十六日  | 六月三日   | 六月四日   | 六月五日   |
| 五月三十九日 | 五月十七日  | 六月四日   | 六月五日   | 六月六日   |
| 五月四十日  | 五月十八日  | 六月五日   | 六月六日   | 六月七日   |
| 五月四十一日 | 五月十九日  | 六月六日   | 六月七日   | 六月八日   |
| 五月四十二日 | 五月二十日  | 六月七日   | 六月八日   | 六月九日   |
| 五月四十三日 | 五月二十一日 | 六月八日   | 六月九日   | 六月十日   |
| 五月四十四日 | 五月二十二日 | 六月九日   | 六月十日   | 六月十一日  |
| 五月四十五日 | 五月二十三日 | 六月十日   | 六月十一日  | 六月十二日  |
| 五月四十六日 | 五月二十四日 | 六月十一日  | 六月十二日  | 六月十三日  |
| 五月四十七日 | 五月二十五日 | 六月十二日  | 六月十三日  | 六月十四日  |
| 五月四十八日 | 五月二十六日 | 六月十三日  | 六月十四日  | 六月十五日  |
| 五月四十九日 | 五月二十七日 | 六月十四日  | 六月十五日  | 六月十六日  |
| 五月五十日  | 五月二十八日 | 六月十五日  | 六月十六日  | 六月十七日  |
| 五月五十一日 | 五月二十九日 | 六月十六日  | 六月十七日  | 六月十八日  |
| 五月五十二日 | 五月三十日  | 六月十七日  | 六月十八日  | 六月十九日  |
| 五月五十三日 | 六月一日   | 六月十八日  | 六月十九日  | 六月二十日  |
| 五月五十四日 | 六月二日   | 六月十九日  | 六月二十日  | 六月二十一日 |
| 五月五十五日 | 六月三日   | 六月二十日  | 六月二十一日 | 六月二十二日 |
| 五月五十六日 | 六月四日   | 六月二十一日 | 六月二十二日 | 六月二十三日 |
| 五月五十七日 | 六月五日   | 六月二十二日 | 六月二十三日 | 六月二十四日 |
| 五月五十八日 | 六月六日   | 六月二十三日 | 六月二十四日 | 六月二十五日 |
| 五月五十九日 | 六月七日   | 六月二十四日 | 六月二十五日 | 六月二十六日 |
| 五月六十日  | 六月八日   | 六月二十五日 | 六月二十六日 | 六月二十七日 |
| 五月六十一日 | 六月九日   | 六月二十六日 | 六月二十七日 | 六月二十八日 |
| 五月六十二日 | 六月十日   | 六月二十七日 | 六月二十八日 | 六月二十九日 |
| 五月六十三日 | 六月十一日  | 六月二十八日 | 六月二十九日 | 六月三十日  |
| 五月六十四日 | 六月十二日  | 六月二十九日 | 六月三十日  | 七月一日   |
| 五月六十五日 | 六月十三日  | 七月一日   | 七月二日   | 七月三日   |
| 五月六十六日 | 六月十四日  | 七月二日   | 七月三日   | 七月四日   |
| 五月六十七日 | 六月十五日  | 七月三日   | 七月四日   | 七月五日   |
| 五月六十八日 | 六月十六日  | 七月四日   | 七月五日   | 七月六日   |
| 五月六十九日 | 六月十七日  | 七月五日   | 七月六日   | 七月七日   |
| 五月七十日  | 六月十八日  | 七月六日   | 七月七日   | 七月八日   |
| 五月七十一日 | 六月十九日  | 七月七日   | 七月八日   | 七月九日   |
| 五月七十二日 | 六月二十日  | 七月八日   | 七月九日   | 七月十日   |
| 五月七十三日 | 六月二十一日 | 七月九日   | 七月十日   | 七月十一日  |
| 五月七十四日 | 六月二十二日 | 七月十日   | 七月十一日  | 七月十二日  |
| 五月七十五日 | 六月二十三日 | 七月十一日  | 七月十二日  | 七月十三日  |
| 五月七十六日 | 六月二十四日 | 七月十二日  | 七月十三日  | 七月十四日  |
| 五月七十七日 | 六月二十五日 | 七月十三日  | 七月十四日  | 七月十五日  |
| 五月七十八日 | 六月二十六日 | 七月十四日  | 七月十五日  | 七月十六日  |
| 五月七十九日 | 六月二十七日 | 七月十五日  | 七月十六日  | 七月十七日  |
| 五月八十日  | 六月二十八日 | 七月十六日  | 七月十七日  | 七月十八日  |
| 五月八十一日 | 六月二十九日 | 七月十七日  | 七月十八日  | 七月十九日  |
| 五月八十二日 | 六月三十日  | 七月十八日  | 七月十九日  | 七月二十日  |
| 五月八十三日 | 七月一日   | 七月十九日  | 七月二十日  | 七月二十一日 |
| 五月八十四日 | 七月二日   | 七月二十日  | 七月二十一日 | 七月二十二日 |
| 五月八十五日 | 七月三日   | 七月二十一日 | 七月二十二日 | 七月二十三日 |
| 五月八十六日 | 七月四日   | 七月二十二日 | 七月二十三日 | 七月二十四日 |
| 五月八十七日 | 七月五日   | 七月二十三日 | 七月二十四日 | 七月二十五日 |
| 五月八十八日 | 七月六日   | 七月二十四日 | 七月二十五日 | 七月二十六日 |
| 五月八十九日 | 七月七日   | 七月二十五日 | 七月二十六日 | 七月二十七日 |
| 五月九十日  | 七月八日   | 七月二十六日 | 七月二十七日 | 七月二十八日 |
| 五月九十一日 | 七月九日   | 七月二十七日 | 七月二十八日 | 七月二十九日 |
| 五月九十二日 | 七月十日   | 七月二十八日 | 七月二十九日 | 七月三十日  |
| 五月九十三日 | 七月十一日  | 七月二十九日 | 七月三十日  | 八月一日   |
| 五月九十四日 | 七月十二日  | 八月一日   | 八月二日   | 八月三日   |
| 五月九十五日 | 七月十三日  | 八月二日   | 八月三日   | 八月四日   |
| 五月九十六日 | 七月十四日  | 八月三日   | 八月四日   | 八月五日   |
| 五月九十七日 | 七月十五日  | 八月四日   | 八月五日   | 八月六日   |
| 五月九十八日 | 七月十六日  | 八月五日   | 八月六日   | 八月七日   |
| 五月九十九日 | 七月十七日  | 八月六日   | 八月七日   | 八月八日   |
| 五月一百日  | 七月十八日  | 八月     |        |        |

|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 七月廿五日 | — | 八月十日 | 八月十一日 |
|-------|---|------|-------|

\_\_\_\_\_

——すき | 致呈汝御第次込申御は表着發—— (線加利弗阿印㊦)



棉作者への注意

聖州の買  
るご、實  
ればならぬ點で、之等の改善さへ出來れば日本輸出の遠境は、聖州棉作して北米棉を駕駕せしむるは容易である、就いては日本紡織業者が聖州棉に對する希望を掲げて棉作者へ注意を起するものである

採收の

**採收の** 際注意して實柄の  
濕氣を除かねば良  
質の繰上綿は出来な  
い、濕氣を含  
む棉花は必ず干して  
水分を除  
き、その儘に壓縮して仕舞か  
ざれば最初は純白の纖維も二ヶ月以上  
の航海で灰色に變りアスアス切  
れ易くなり紡績用には用ひられ  
ない。

**栽培者の** 見てさつたら、棉  
玉に雨に當てない前に急いで採收  
し、小さな堆積として防水布で完  
全に覆はねばならぬ。納屋に近け  
れば直ちに搬んで總經路に當てな  
い様に、雨が上り、繰上場  
てから儂つてにして、繰上場  
迄、若しこの堆積に雨がかつ  
たら、聖州棉  
聖州棉が比較的  
安なるこの品が

土を雨に當て

小さな綿として防水布で完  
に覆はねばならぬ。絨屋に近け  
る、若しこの堆積と雨がつかつ  
てから俵づめにして繰紐工場に  
行く、

聖州棉  
聖州棉が比較的  
安なのよこの品を

が不統一なの

は、日本さの商取引を目標とす  
に、以上注意を申し上ぐ  
に、以上の注意を必要で、参考考

木炭

を構成する成分は木材の種類によって異なるが、之を平均して一様でないが、之を平均すれば大體炭素五〇%、酸素五%位であつて之な

此物の成分は＊硅酸ナトリウム及び＊無水硅酸カルシウム及び＊無水硅酸の混合物であつて炭酸曹達と本

を<sup>お</sup>幣<sup>は</sup>びてゐ

此物の成分は、\*硅酸ナトリウム  
\*硅酸カルシウム及び\*無水硅  
酸<sup>二酸化硅素</sup>の混合物であつて炭酸曹達と木

Rua 25 de Março, 196 - 198  
Caixa Postal. 3835

## ◆ ATIVIDADE DAS ABELHAS

爾西刺伯

その他美麗な口輪

## 用穫收

新舊とも

目種業營

農産物受計販賣、各種農薬用品、染料、棉  
花雜種、噴霧器（ガイブ・エセルシオール・  
ブラット等）、驅蟲劑（驅逐品アルセニアル・  
デ・シユエン・エン・ホー）、殺蟻劑（殺蟻に  
強力なシユタツフルト・ゾルユー劑）を特賣  
して居ります

三友商會

Rua 11 de Agosto, No. 64  
2º andar Sala, 7=C. P. 1135

爾西刺伯

その他美麗な口輪

爾西刺伯

その他美麗な口輪







## 注目される現場職員の詮衡

即ち、既報の如く拓務省より打電  
に來つた主事、支配人、拓務主任  
等の新陣容が殆んど本省の役人に  
依りかためられて居り之等の役人  
が現場の指導にまであたるやうに  
つてゐたため

して變かた交渉をなしてゐるが既  
に略内定を見たる機やうであり運  
くとも

明日中  
には決定するものの  
如くである、バラグ  
ロフ拓植の成不成は先づ現勢職員  
に在る内田千尋氏らと諸事打合

れるのではないかと見られる  
なは矢崎主事は測量技師等を運  
け出立する、ことに  
つて居り、途中亞  
近く

の失時主事は直ちに返電して現場の指導者は拓植に實際の経験があるもののでなくてはならぬと主張し、まもなくれば世話とされる。頗る強硬に出てゐたところ一昨廿日、承知した故早退し人選ありたとの旨拓務省より電報があつた、そこで失時主事は愈々確立に乗出すことになり直ちに現場の職員を人選の如何にあるもので果して誰かの大任を擔つて行くかと頗る興味ある問題として種々取沙汰されて居る。現時主事は慎重でも一へ口を滅して語らぬが、何れアヲ拓移住地から選拔される客でバスターズの畑中支那人、アリアサの日沖支配人など最も有力な候補であり百家族の植民の指導には先づ一人で足ると思はれる故或に日沖氏が選ば

現地到着後直ちに土地の選定購に於ける決定し購入決定し次第事務に付中し植民の募集なり来る六月中に入植せしめるやうなるらしい、なほ幹部の職員五左の役名には多少の變動がある模様である

プロミツツソ管内  
教員檢定試験

在留民より記念品贈呈

實に十余年の長き間日亞外交に當つて偉大なる好成績を挙げた駐亞全權公使山崎次郎氏は今般賜暇服朝の命に接し來る六日アエノス出港のアエノス・アイレス丸にて歸朝の途につくこゝになり、今や亞國に在留同胞はひとしく惜別の情を深ため流會となつたので更に廿五日午後七時より同市青年會館に於て開辦した結果出席者三十七名委任第五通で總會を成立し定期議長井本勝藏氏を推し會計事務の報告、事業計畫豫算等の討議あり終つて役員の選舉に移つたが改選の結果

七日檢定試験施行の結果左の六が何れも優秀な成績で合格した

ブレリンニヨ小學校  
ボレンセツツ校  
サソメイザン校  
バランサン校

武井信  
上井敏  
平松君  
渡邊信

往年の漁村も

今は伯國等

本月末日迄通知あわ

リンズ日本人會  
定期總會開催  
リンズ市日本人會の定期總會は去  
十一月開催したが出席者少なき  
れたといふ

澤田總裁、市毛會長より、のべ  
た確定してゐないが、目下、リンズ  
に於て國際外交の精銳並に活  
躍してゐる總領事横山正幸氏が略  
内定したる模様である

今月末迄各地方委員會あてに委員  
各位の姓名を通知されたい尙既に  
通知済みの諸團體にも更に増員を  
する向に右と同様に姓名を通知さ  
れたといふ

五千人それに毎年の黄熱病に  
人が寄りつくことも怖がつて居  
程の不健康だつたもの、然し  
セオ・ニフ・ハシオ其他の何  
の有名な人達の播道並として早  
かち名は知られて居たので丁度  
千九百三十九年一月二十八日  
王國政治機構の翌年、顧問官の  
セオ・ニフ・ハシオへの記念とし

「中遷路の旅」其の他一編を公開するこゝなつた、これらの映画は同

社の特約である大平洋娛樂會社の第二回配給であり、全夜は二回上映であつて入場料は三軒五百レールである。

## 成績の発表は！

夏期休暇を利用して開催されたサ  
ンパワロ日本学校父兄会主催第  
三回葡語講習會は百數十名の出席  
者があつて可成り好成績に就き  
廿三日講習を了し明かつて去  
り三十一日豫定通りを終了  
して閉會された、試験課員は書取  
會話の三種で、最初の二十

葛岡氏 合

月の中旬にならうい、既報の如

二の良港

處刑臺、監獄等が目立つばかりで、見るべきものも無く、不活潑な姿

に過ぎなかつた、千八百六十五年サンパウロ・レイルウェイが開通するや遠隔地のこの通商が始まり、俾利の便を以て年々アフリカに於ける波止場の建設さるゝや一大忙しを來せり。今ではアラビヤ第一の港と稱せらるに至つたのである。

大正小學校の

經營移管問題  
總領事歸聖後確定  
校の經營を父兄會に依頼するこ  
に應ずるの決意を顯し、  
黒石の四氏に於て来る廿八日佐  
父兄會で事に種々交渉をなした  
父兄會では大體引受ける様であ  
り、市廳職員等目下市上

は中旬

留學生受驗

者先づ半數か

氏ら三名の留學生に居り、また  
該女子の中には海興の東郷氏夫  
人、ハサンバカロ裁縫女學院の生徒  
とあり、その成績は頗る關心を  
入學並に始業式

大正小學校の

小川旅館 佐藤實七氏佐川信一  
(マリーゼ) 堀川清治氏(モサダ  
クルセ) 白川達男氏(マリー  
藤井氏鹿島氏田氏玉城氏  
ミツシ) 野村眞一氏(ドアル  
ナ) 土井氏正氏井仁氏氏氏  
バラス川本家一氏島田氏  
ユキヤ宮本氏家族(ミナス) 高  
氏(バスター) 長花(正行氏  
市橋原氏氏(バスター) 中尾  
夫氏(シネラル) 島田眞一郎  
(コチ) 下川夫氏(バスター)  
岡上氏(マクルス)

行

友の婦人になぐさめられつひに故人の靈を弔つて居た河田博士未亡人は來る十三日サントス出た。未亡人のグエノス丸にて一時歸國

いで、その墓を守つてゐて

人事來往 廿一 日調

船旅館 柳澤龜吉氏 (ハナリリ)  
佐藤幸三氏 (リリヤ) 清水氏 (ア  
族) グラチナ 神澤久氏 (ア  
ファンサ) 本下正夫氏 妻バースト  
(三宅) 三宅 仙次郎氏 (バースト) 廣岡氏 家族  
(バースト) 田藤俊也氏 (アマア  
) 齋藤氏 (アマア) 佐野

カフェ・アデリノは：  
日本人に對して親切上  
好意を以てサービス致  
します

Cafe' Adellino  
Prata João Mendes No. 7

壽 旅館  
ロニエ (ニール) 六九  
オニエ

店  
三五一  
Francisco Pereira Vieira  
C. P. 406 - P. Prudente  
市立病院（方眼）後開合ヤ下

御挨拶

後共宜數御引立に預り度乍略儀以紙上  
上候

昭和十一年一月三十一日

在サントス 馬淵知世

辱知各位

棉の害虫に御注意下さい

アルセニアツト・デ・シユンボ・エン・ボ

同

パスダ

ASIA  
IAC  
Posta  
噴霧器

  
 R. Ceres, 12 C.  
 新メルカトド前  
 濱岡肥料農具店  
 C. P.・  
 九九三

皇日親臨 萬國懸賞 當選小  
錄の也 下白

糸の城の糸  
定價 十三銖五〇〇 (送料 八〇〇)  
【横山美智子著】今や満天下の讀書子を唸らせ  
たと云ふ問題の大名篇  
到る處大好評ぜひ何人も讀まれよ！  
T. YENDO  
R. Conde do Pinal, 188  
C. P. 2878 - Tel. 2-1035, S. Paulo  
遠藤書店  
御注文は「コンパロール」御利用が一番御便利です  
御注文は「コンパロール」御同封御送付下さい

\_\_\_\_\_

三、大正 10 年 10 月 1 日

6

---

---

100



北富三郎 齋

勸「さうがさうぢやあられぬ此の先生の、江戸から來た物知り此の間の話を聞くに、人間の魂さ云ふものは死ぬもの、でれば、死むは身體だけで、魂は屋船玉のやうに始終此の空を歩いてゐるさうだ、然も凡夫の眼には判らぬ、解れが見れば今誰々が此の福島屋の前を道つた、誰々が今何處さへ用逢に出かけるさ云ふ事がちやんと判る、でその千年前に死んだ小野の町小町魂は未だに生きてゐる、白地の浴衣に月夜の三月の夜、濡れた手拭を肩に置いて勸木の前になつた市兵衛

市「何を獨言を云つてゐるんだ、泥鰌盆ぢやあるめな、だが才女そう威張つてゐるが、何うしたんだ」

云はれて勸木は体裁が悪い、勸「何に、その何が何して何心さやう……」

市「ヤイヤイ、人をさちやらしやアがつて、何うしたと云ふ



「時々此の鶴島屋にやつて来る  
ひんでやつて来るか、と云ふに、  
市さんに會ひたためんだ、所で  
市さんにも會ひたは、小町に會ひたい會  
ひたいと願つた間も忘れた事はれぬ  
一し小町は度々来る、來ても肝心  
眼に見えぬいぬんだから、却々  
へない、さて會へないさなるさ  
思ひたのが人情、往互ひに會  
はないくで氣拂んであるさ、そ  
へば前附女なかりし所で市  
さんが色好、返事をする譯がれぬ  
まゝ諦める」

女中の清は如何に勘太が云ふ  
んだからとばかり譯が判らない、た  
のに終ひては聞いてゐるが馬鹿  
馬鹿に、腹を立て、細腰敷を立  
つて行く、見送つた勘太。

勘「頭隠逃げ出してしまつたな  
へん何んだあんなや、ホで市さん  
附女するなんて、わ、濟で茶を沸  
く、此の馬鹿め、鏡と相談し  
て、來い、押さけがつて、誰だ  
か、今で、こんな夜で囂八を  
だ」

勘「まあ此處へ來られれば立つ  
ぬれでよ、實は違ひ棚の中の  
の様子がすつかり見現したんだ  
兄貴、目出度う」

市「何が目出度いんだ俺に  
何の事がさつぱり判れんや」

勘「判られぬ、さうだらう、  
さあんな化物のやうな女に物  
られやうとは思はれだうやうな  
な、オ兄貴、清に前にも聞  
た、オエとな」

市「ワ、その事が、何んが、  
鹿々々しい、清の姿を見た  
勘「イ、申を見ようと思つた  
つて清の奴め入つて來やあがつ  
つて行くともつたが、大變  
があつたもんだ」

市「俺もあの女に呆れたよ、  
い何んだ、あんな不具に近  
でも附女するだけがほとほと  
勘「さう云へばそんなもんだ  
身の程も知られぬ奴だ」

市「わ、清は逃つてゐたらう」

聖州軍跳躍に振ふ

伯林オリシヒツクに具へ(金伯の陸上選手を斜合して去る十八、十九兩日首都リオのフルミネシ運動場で舉行され、リオ、聖州、パラナ、ミナス、エ・サント、メルナンブルゴ諸州と華々しい追撃が演ぜられたが折柄の猛暑も加はつて最高記録を出し得ず、一萬米に伯國新記録を出したのみで平凡に終はり世界陸競水準に達するものは一つもない心細さである

聖州も門前した當國に出来得ない

八米三七 3 カルミナ(聖)  
▲砲丸一リカルミナ(聖)一三米九  
4 リラ(リ)一三米九四 3  
カルバリヨ  
▲楯柱一リファルクンベルグ(リ)  
五六米一七 2 メヤナナ(リ)三  
六米一五 3 バリア(聖)  
▲鐵槌一リナパン(聖)四四米六  
2 クレリナ(バ) 3 ガウ(バ)

新陣容を整へ

東京

巨人軍 再度渡米

【東京教】 職業野球團東京巨人

軍は第三回アメリカ遠征を企てて本年二月四日横濱出帆の機失  
て出發に中ハ行ひに寄つて七回  
至十回位の試合を行ひ、それより  
平洋沿岸に轉戦、サンフランシ  
スコ、シャトル、ヴァンクーバを  
心に約七回位の試合を行ひ六  
五日横濱の平安丸で歸朝する  
定である、なほ遠征軍の陣容は  
來のメンバー中數名の選手入替  
行ひ新陣容は本年早より各洋  
場て冬季練習を開始してゐる

重量實に十四噸

重量實に十四噸

オリンピック用重量十四噸の大鈞  
鑑特別仕立十六ローダの自動車で  
五週間餘もかゝつて、やつとベル  
リンへ到着したが、二十六日開選  
オリンピック委員長ハンス氏へ特  
別榮典を舉行して引渡される豫定  
尙此の大鈞鑪はオリンピア場フェ  
レル塔上に設置されるものである

其チームがフィールドのまん中で回  
陣を作り奇聲を擧げてダンスを懸  
る

春の開幕は  
四月四日と決定  
『早大の北米遠征』  
（東京發）東京大學野球聯  
盟では過日遠征會合を開幕し、  
先づ早大野球部が本年五月  
一日横浜出帆の竹船で米國

ダンス入の蹴球

野球

リ

デー

珍スポーツ

★「南アフリカの英領植民地にデ  
ン地方の礦族の間に礦球熱が盛  
んである、所がこの礦球試合時  
間五時間は大ツブリかい」といふ  
頗るも變りなも  
選手か試合が始まる前に兩軍の  
選手がそれぞれ、音頭をさつて「聞へ  
聞へ、頑張れ頑張れ」といつたや  
うな歌を合唱する、試合が始ま  
つてごつちのチームが得意するこ

(選)  
(手)  
(十)  
(傑)  
(4)

[illegible]

Casa  Allemã

来る週かざりです。

ルーゼーマンサ  
賣特期夏の  
ンマレアザーカ

夏もツツ大の蔵ざへは  
—— 戴を氣入の外想像  
め努に底徹の意本様客御に更は間週一の仕奉恩謝  
供提大の値安新きし等に後絶

賣 廉 大 超

Schaedlich Obert & Cia. Rua Direita, 16-18

電力装置で プラジール 最古  
の工場であります  
ペイシ印靴は 農村労働  
用として安全 且最も確  
實の品であります 全部  
皮革のみを以て  
造られ  
凡て一  
等品の  
原料を  
使用し  
て居る  
からで  
す

御注意！ 靴底にある  
ペイシ印を、確め下さい。これ  
は厚紙を使用しない靴を代表する  
マールでありますから靴が磨り切  
れるまで綿靴上品で且永保が致し  
ます

聖市パロン  
プアラット街三一A  
古澤 基

新メルカド横通  
電話二二四五九

“シイペ”  
靴工場

元カシビーナス眼科醫ドトール・モアシル・クリニヤ  
ドトール・ロゴン・共營病院、ドトール全田、サンタ・カ  
ーザ街五十五メートル以内

親切・丁寧  
望遠鏡 御旅館 相原

眺望よく最も静かな！  
ノロエステ リンス市オスビタルール街

各種カメラ、シネ撮影  
映寫機及寫真材料藥品

日本文商販進至・質問照會歡迎

此の廣告切抜き二十枚と弊店精製藝術的  
の伸縮真一枚と交換す郵送あり (本橋)

ベビー・ボツクス 小形新カメラ  
3×4判 ベスト・フィルム使用 十六枚撮り  
七十五針レース フィールム三針六百レース

スクツボーベ  
CAS  
FOTOPTICA  
RUÁ S. BENTO  
SÃO PAULO  
PECAM CATALOGO

# CASA TOZAN LTDA

## COMMISSARIOS

PHONE: 2105 e 2106

END- TELEGR- "TOZAN"

Fraça Mauá, 25 = Caixa, 911 = SANTOS

珈琲コミツサリオ

カーザ東山

東山銀行部

伯貸定期預金  
一ヶ年六歩

サンパウロ

事務所

ル・ア・フロレンシオ・デ  
アブレウ七四A  
郵函五二八||サンパウロ

▲大工道具  
▲切れ物一切  
鍛打宗貞の刃物  
製作所  
市  
三  
藤原宗貞  
新らし  
料亭い  
女給さん二、三名募集  
羽 一富士 白  
聖市コンデ街七九番  
電話 二一七七二二

# ・書科教定國 正改・

尋常科、高等科（兒童用）

國語 算術 地理 國史  
修身 理科 圖畫 唱歌

尋常科、高等科（教師用）

地理 國史 算術 修身 理科

參考書（兒童用）  
（教師用）  
（理科）  
（修身）  
（國史）  
（算術）  
（地理）  
（圖畫）  
（唱歌）

教科書・月刊雜誌・單行本等の定價表  
御申越次第御送致します、多少に不  
拘御用命願ひます

國定教科書  
伯國販賣所

中矢商店

聖市 郵函二九九五